

各部会報告

- ・子ども部会（P2-4）
- ・就労部会（P5-6）
- ・相談支援部会（P7-8）
- ・精神障がい者地域移行支援部会（P9-11）

子ども部会活動報告（令和4年度第2回）

1 部会の目的

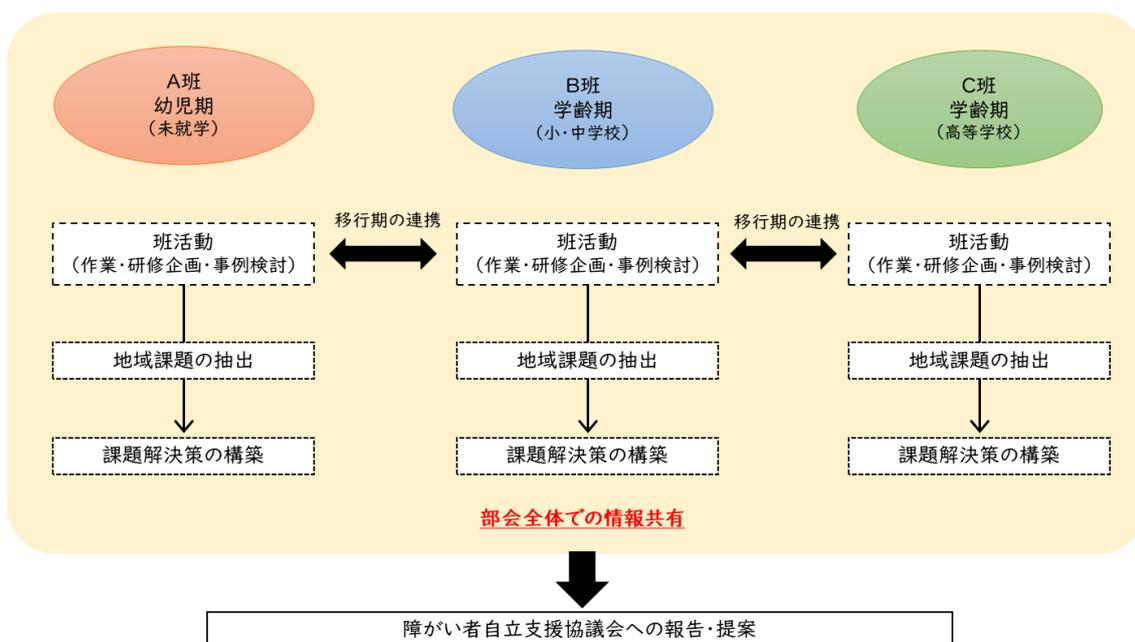
障がい児の支援について、関係機関等が情報交換を行いながらネットワークの構築を図るとともに、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有を図る。

2 令和4年度の運営体制

ライフステージに応じた班体制を引き続き維持する。

また、毎月の部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

※運営委員会（第3月曜日）、部会（第4火曜日）



3 令和4年度の実績（令和4年10月末時点）

（1）取組内容

① A班（未就学児が主な対象 ※移行期の連携も含む）

テーマ：学校、保育機関への移行支援

（令和4年度取組予定）

- ・就学時の移行支援
- ・保育所等訪問支援事業（アンケート実施）
- ・令和3年度作成のリーフレットの配付及び利用状況の確認

（令和4年度取組実績）

- ・保育所等訪問支援事業に係るアンケートの作成
※現在、内容を精査中
- ・総合支援課教育相談室との意見交換会（R4.8.30）
- ・令和3年度作成のリーフレットの配付は準備中。配布先は各区保健子ども課、福祉課、障がい者相談支援センター

② B班（小・中学生が主な対象 ※移行期の連携も含む）

テーマ：学齢期のアンケートを踏まえ課題の検証と情報提供のあり方を検討する

（令和4年度取組予定）

- ・アンケート調査実施及び検証
- ・移行期に関するリーフレット作成

（令和4年度取組実績）

- ・アンケートを用いた保護者のニーズ調査（R4.7.11～9.16実施）
※回答データについては現在集計中
- ・幼稚園・保育園—小学校の移行期の課題について検討し、フローチャートを作成
※現在、内容を精査中

③ C班（高校生が主な対象 ※卒業後の課題も含む）

テーマ：アンケートを通して見えてくる現状からの在学中、卒業後の生活支援と課題について

（令和4年度取組予定）

- ・ 学校アンケートの配送と集計、その活用について
- ・ 特別支援学校卒業後の実態調査
- ・ 就労含む生活支援に向けた KP5000 の円滑な活用をするためには

（令和4年度取組実績）

- ・ 高校に対し、障がいのある生徒へのサポートについてアンケート調査
（R4.8.4～8.30） ※回答データについては現在集計中
- ・ 特別支援学校卒業後の実態を調査するためのアンケート作成
※現在、内容を精査中

（2）振り返り

新型コロナウイルスの感染者数が一時的に落ち着いたこともあり、4～6月の子ども部会は対面にて開催しており、アンケートの作成や実施など作業をスムーズに行えた班があった。他にも、教育委員会事務局の職員を招いた意見交換会を行った班もあり、児童の支援に対して課題を再抽出するきっかけとなった。

7、8月は、新型コロナウイルスの感染状況の悪化に伴いオンラインで開催。その後感染状況が落ち着いたため、9月からは対面開催を再開しており、各班ともにアンケート結果の集計や整理、フローチャートの精査を行っている。

就労部会活動報告（令和4年度第2回）

1 部会の目的

『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』を目的として、熊本市における就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

2 令和4年度の取組

(1) 運営体制

5つの班構成（企業就労班、ホッとワーク班、ワークイノベーション班、お悩み解決班、当事者対話班）で各班作業に取り組んでいる。毎月の部会開催後に運営委員会を開催し、翌月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

(2) 運営委員会開催状況

原則、毎月第2木曜日にオンライン（Zoom）開催しており、5つの班の代表者が集まって、部会の進め方等について意見交換を行っている。

(3) 部会の開催実績

原則、毎月第1木曜日に開催しており、ミニ研修等と班活動を実施している。

| | 内容 | 参加人数 |
|--------------------|--|------|
| 4月7日(木) | 1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会について 2 くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター縁の紹介 3 班活動（年間計画の作成、就労フェア準備） | 48名 |
| 5月12日(木) | 1 班活動（就労フェア準備） | 39名 |
| 6月2日(木) 【就労フェア】 | ①研修 （テーマ）企業における障がい者雇用について （講師）桜十字病院人事部 亀井貴史氏 ②部会の各班の活動成果報告 令和3年度の各班における成果物の発表や活動状況について | 60人 |
| 7月7日(木) | 1 関係機関及び事業所における課題の共有と解決策について 2 班活動 | 39名 |
| 8月4日(木) | 1 ミニ研修 「スターティアウィル株式会社における障がい者雇用について」 2 班活動 | 50名 |
| 9月1日(木) | 1 ミニ研修 「スタッフサービス・クラウドワークの取組について」 2 班活動 | 50名 |

(4) 各班の取組

①企業就労班

(目標) 一般企業への就労の可能性を広げる取組みと啓発活動

- ・「しごといく」(予定)等の成果物の作成
- ・企業就労やサポート企業・団体の啓発に向けた新たな取組みの実施

②ホッとワーク班

(目標) 福祉事業所や関係機関の連携を深めるための活動、ツール作り、情報発信

- ・前年度制作した「相談先たどりつきチャート」の活用と改善
- ・事業所一覧の作成

③ワークイノベーション班

(目標) 障害福祉サービス事業所の課題を整理・共有し、解決策を検討する。

さらに、その課題と解決策(案)を熊本市に提言し、行政機関とともにより良い熊本の障害福祉サービス事業所づくりに取り組む

- ・課題の洗い出し・整理・共有(工賃向上等を含む)
- ・課題についての解決策の検討・解決策(案)の作成

④お悩み解決班

(目標) 就労支援に関するさまざまな問題点について、その解決に向けて検討する

- ・支援員が抱える事例についてのお悩み相談

⑤当事者対話班

(目標) 当事者会メンバーが主体となり、就労や生活・余暇について考える。

当事者の視点から支援者等と協働して就労について考える。

- ・「自立」とは何かを考える
- ・当事者と医療と福祉の関わりを考える
- ・熊本市の就労に関する提言をまとめる

3 その他

例年実施している「就労フェア」を令和5年2月に開催予定。企業が参加しやすいよう、オンラインでの開催を検討中。(テーマ:この街でともに働く)

相談支援部会活動報告（令和4年度第2回）

1 部会の目的

相談支援事業を行う事業者等が情報交換を行い、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有・開発、相談支援事業者のスキルアップに向けた取組等を行うもの。

2 令和4年度の取組

（1）運営体制

運営委員会のメンバーを3つの班編成（スキルアップ班、地域課題班、社会資源班）に分けて、各班で課題を整理して、取り組む内容を検討した企画を全体会において実施していく。

毎月の部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

（2）取組内容

月毎に企画を実施する担当班を割り当てて、部会を進めている。

① スキルアップ班

- ・ 計画相談支援事業所の連携、相互支援
- ・ 実施プロセスの標準化を図り、計画相談支援の促進

② 地域課題班

- ・ 個別のニーズや課題を踏まえて個別の支援や課題解決の検討
- ・ 個別のニーズや課題から地域課題の抽出

③ 社会資源班

- ・ 地域の社会資源を収集、整理
- ・ 社会資源の情報の共有

【部会の実施内容】

| | 部会内容等 | 担当 |
|-------|--|---------------------------|
| 5月17日 | ①令和4年度相談支援部会の体制について ②熊本市成年後見支援センターについて ③集団指導、報酬改定などの説明 ④インフォメーション | さいせい じょうなん 障がい保健福祉課 |
| 6月21日 | ①担当者会議について ②グループワーク ③インフォメーション | スキルアップ班 |
| 7月19日 | ①「個々のケースから考える地域課題について意見交換」 ②ヤングケアラーについて ③インフォメーション | 地域課題班 |
| 8月16日 | ①KP5000を活用した情報共有について ②余暇の社会資源の情報共有 ③インフォメーション | 社会資源班 |
| 9月20日 | ①成年後見制度について | スキルアップ班 |

※全て ZOOM を使用しリモートで実施。

※運営委員会（第1木曜日）、部会（第3火曜日）

精神障がい者地域移行支援部会活動報告（令和4年度第2回）

1 部会の目的

「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神障がい者の地域移行に必要な地域体制の整備を図るとともに、地域の関係者が連携して退院に向けた支援を行うことにより、精神障がい者が地域で安心して生活することができるよう地域移行及び自立を推進することを目的とする。

2 令和4年度の実施状況

① 運営体制

精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年4回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域（区）の課題抽出、具体的な計画・取り組み、顔の見える連携づくりを目的に年3～5回開催を計画。

その他、コアメンバーによる会議を毎月開催。運営事務局としての役割を目的として事業の年間計画や方針等を決定し全体部会や区部会への働きかけや周知を行っている。

② 取組内容

1、全体部会

今年度より、熊本市ピアサポート活用事業に登録しているピアサポーターにも全体部会への参加を呼び掛けており、地域移行支援がより当事者の意見を反映させたものになるよう取組を行っている。

6月14日 第1回全体部会開催（出席70名、ZOOM開催）

- 内容
- ・基礎研修、事業説明
 - ・年間計画、地域アセスメントについて
 - ・各区部会の報告
 - ・グループでの意見交換

9月13日 第2回全体部会開催（出席65名、ZOOM開催）

- 内容
- ・各区部会の報告
 - ・ピアサポーターとの意見交換（事前収録済み録画の放映）
 - ・グループでの意見交換、感想共有

2、区部会

今年度の取組テーマとして「地域アセスメント（地域診断）」をあげている。まずは区ごとの地域性や特性、医療体制や社会資源を把握し、地域の実情や課題を知ること目標としている。それをもとに課題解消や地域の実情に応じた支援の体制づくりや取組を検討することをねらいとしている。

区部会開催状況は別紙資料1参照

3、コアメンバー会議

毎月コアメンバーが集まり、全体部会の企画運営、計画や方針の決定、区部会運営状況の把握と取組への助言を行っている。

参加者は部会長、副部会長、地域体制整備アドバイザー、精神保健福祉室。

3 今後の取組予定

1、全体部会

第3回目を12月、第4回目を2月に予定。

ピアサポーターが全体部会へ参加するようになり当事者目線での意見が加わることで、より会が活発化している印象。ピアサポーターも全体会への参加に意欲的であり、以前からの参加者である医療機関や相談支援事業所からも「ピアサポーターの参加により多くの気づきを得ている」と意見があがっている。

今後もピアサポーターには全体会の参加を呼びかけ定着させていく方針。

2、区部会

各区年3～4回の開催を予定。

すでに1～2回が終了しているが、今年度のテーマである地域アセスメントについては各区とも取組の方針や内容を検討している段階であるため、今年度中にアセスメント実施し結果の共有や分析ができることを目標としたい。

3、コアメンバー会議

- ・全体方針や計画を検討し、区部会と連携しながら事業の促進と浸透を図る。
- ・全体部会の企画調整、運営を行う。

令和4年度精神障がい者地域移行支援部会「区部会」活動実績

資料1

◆区部会開催状況、個別給付状況

| | 開催状況 | 参加者 | 個別給付件数等 | |
|----|---|--|-----------------|--|
| 東 | 1回(7/21) ZOOM | 医療機関(3)、相談支援(基幹2)、区役所(福祉課、保健子ども課)、AD、精神保健福祉室 | 支援中：1 申請予定：1 | ・20代男(R4.5～)グループホーム・日中通所先の確保を目指し支援中。体験や見学等を予定。 ・40代女性(申請予定)グループホームへの退院を希望。 |
| 西 | 2回(6/22、7/25) ※6/22は西区障害福祉ネット7 -ク連絡協議会と共催 | 医療機関(1)、相談支援(基幹1)、区役所(福祉課、保健子ども課)、AD | 支援中：1 | 50代女性、グループホームへの退院を予定。体験利用の実施や本人の特性に合わせた視覚的にわかりやすい説明などが本人の安心につながった。 |
| 南 | 2回(5/20、8/24) いずれもZOOM | 医療機関(3)、相談支援(基幹2) AD、精神保健福祉室 | 0 | |
| 北 | 1回(6/29) ZOOM | 医療機関(3)、相談支援(基幹2、一般2)、 区役所(福祉課、保健子ども課)、AD、精神保健福祉室 | 支援中：4 | ・長期入院中で家族調整が難しいケース(R4.5～)面接/同行/ケース会議/家族調整/制度利用準備 ・再犯歴のある方のケース(R4.6～)面接/ケース会議/制度準備 ・治療抵抗性統合失調症の方のケース(R4.4～)面接/ケース会議 ・家族調整が難しいケース(R4.5～)面接/ケース会議/家族調整 |
| 中央 | 1回(5/24) ZOOM | 医療機関(3)、相談支援(基幹2、一般2)、 区役所(保健子ども課)、AD、精神保健福祉室 | 0 | 巡回訪問中に対象者の支援依頼が挙がっており面談調整中。 第2回区部会は9月開催予定 |